

# 第2章 市民を取り巻く現状

## 1. 平均寿命の推移（全国）

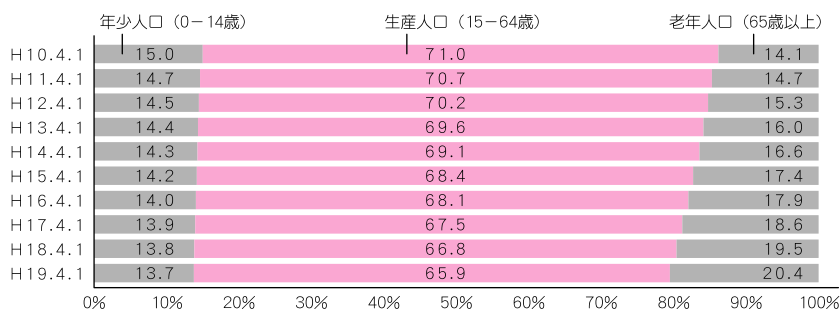
和暦	男	女	男女差
昭和22	50.06	53.96	3.9
25-27	59.57	62.97	3.4
30	63.6	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.7
平成2	75.92	81.9	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.6	6.88
13	78.07	84.93	6.86
14	78.32	85.23	6.91
15	78.36	85.33	6.97
16	78.64	85.59	6.95
17	78.56	85.52	6.96
18	79	85.81	6.81

※瀬戸市は算出しておらず  
 ※出典：厚生労働省 平均余命の年次推移

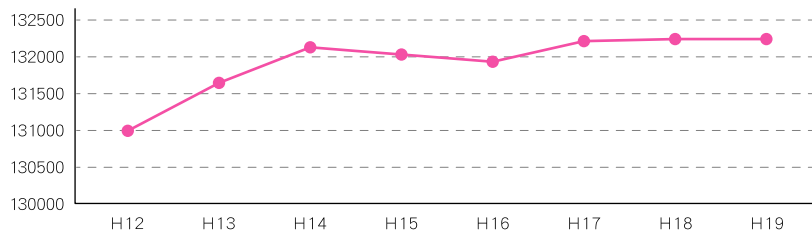
女性の平均寿命は昭和35年に70年、昭和46年には75年、昭和59年には80年を超え、男性については、女性に比べ遅れているものの、昭和46年に70年、昭和61年には75年を超えています。戦後平均寿命が低下したのは、昭和31・55・63年の男女と昭和32・58年の男、昭和45年の女、最近では平成7・11・17年の男女、平成4・10年の男がありますが、いずれも一時的な現象であり、長期的には依然上昇傾向にあると考えられます。また、平成18年の日本人の平均寿命は、男性79.00歳、女性は85.81歳で過去最高を更新しました。男女の平均寿命の差は、平成18年は6.81年差となり前年より0.15年縮小しています。

## 2. 人口推移（瀬戸市）と人口構成

本市では、平成12年に老年人口割合が年少人口を上回り、平成19年4月1日現在の老年人口は20.4%に増加する一方で、年少人口は13.7%と減少しています。このことから、本市においても、少子・高齢化が進行していることがわかります。なお、平成19年4月1日現在の本市の総人口は132,290人で、人口の推移については、若干増加傾向にあります。



瀬戸市人口の推移



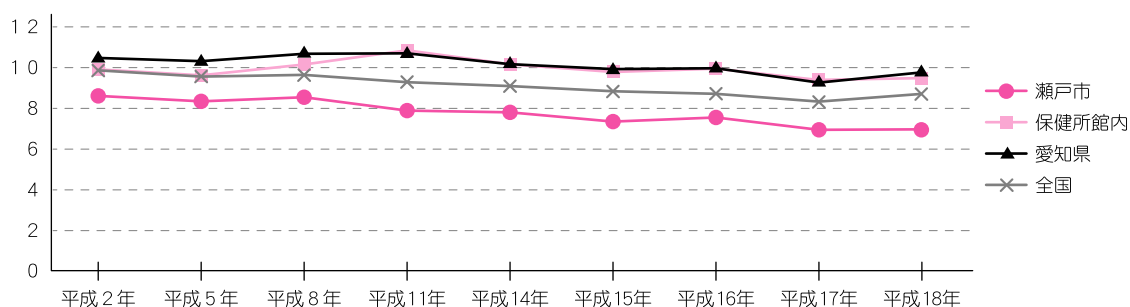
※出典：瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口 ※総人口は住民基本台帳より

### 3. 人口動態

#### (1) 出生率の推移（人口千対）

瀬戸市の出生率は、年々徐々に下降しています。平成18年の出生数は930人、出生率は人口千対7.1でした。また、瀬戸市の出生率は、瀬戸保健所管内・愛知県・全国と比較し、最も低い状況で推移しています。

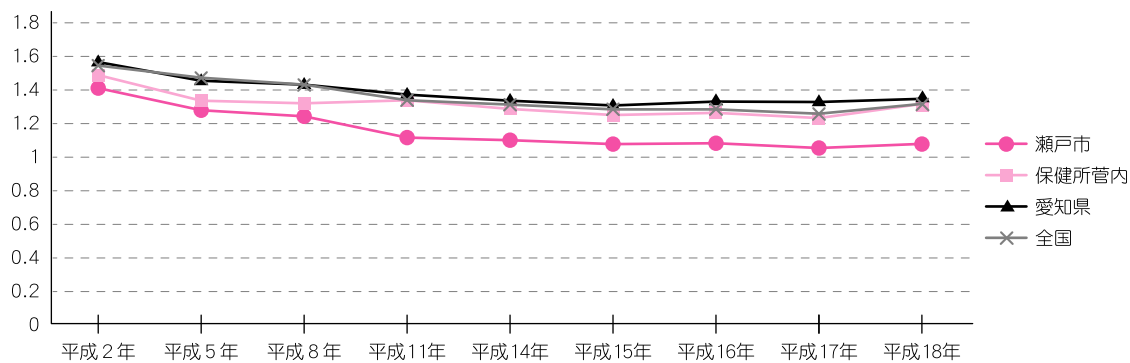
	平成2年	平成5年	平成8年	平成11年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
瀬戸市	8.6	8.3	8.5	8	7.9	7.5	7.6	7.1	7.1
(人数)	1089人	1063人	1109人	1044人	1043人	986人	1003人	942人	930人
保健所管内	9.8	9.5	10.3	10.8	10.2	9.7	9.8	9.4	9.5
愛知県	10.7	10.5	10.8	10.7	10.3	10	10	9.4	9.8
全国	10	9.6	9.7	9.4	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7



#### (2) 合計特殊出生率の推移

本市における合計特殊出生率は平成17年に1.07と史上最低を記録しました。合計特殊出生率は、国・県・保健所管内ともに下降傾向にありますが、本市の率は最も低い状態で推移しています。

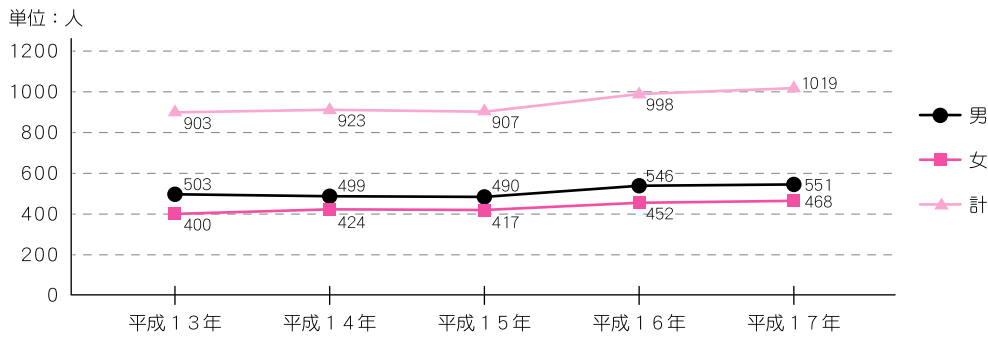
	平成2年	平成5年	平成8年	平成11年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
瀬戸市	1.41	1.27	1.24	1.13	1.12	1.09	1.12	1.07	1.11
保健所管内	1.48	1.34	1.32	1.34	1.29	1.24	1.26	1.23	1.32
愛知県	1.57	1.45	1.43	1.38	1.34	1.32	1.34	1.34	1.36
全国	1.54	1.46	1.43	1.34	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32



(注) 合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生おとした時の子ども数を表したものの。この合計特殊出生率が2.08を下回ると将来人口が減少するとされている。

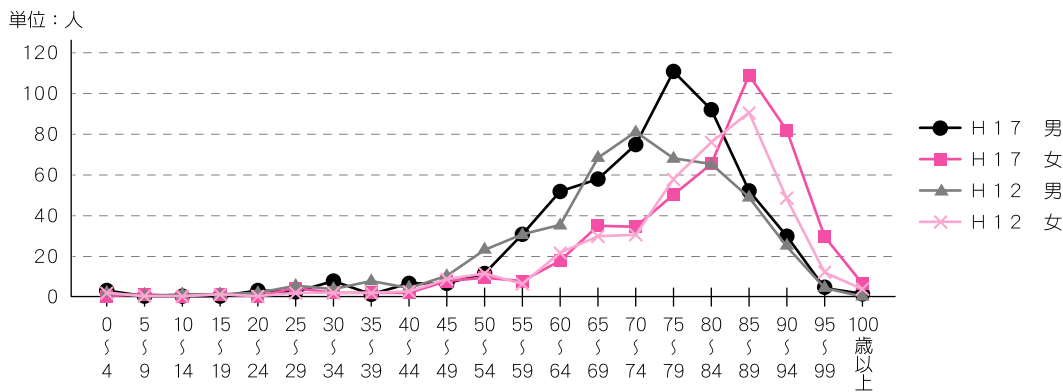
### (3) 年間死亡者数

年間死亡者数は、平成17年には千人を超えました。人口比率から見ても微増傾向にあります。



### (4) 年齢別死亡者数

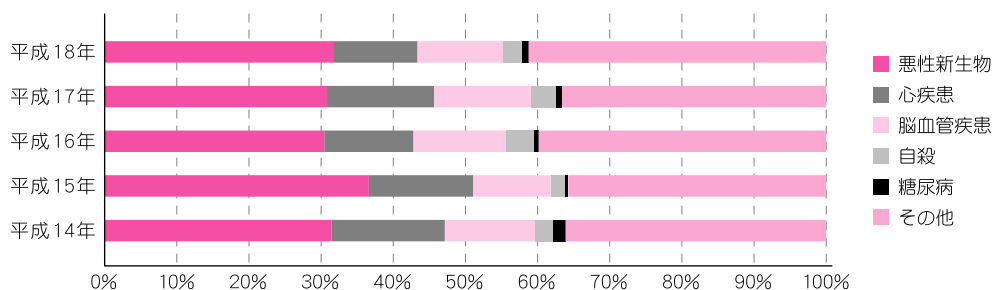
男性の死亡者数が最も多い年齢は、平成12年は70-74歳、平成17年は75-79歳になっています。また、女性の死亡者数が最も多い年齢は、平成12年及び平成17年ともに85-89歳になっています。



### (5) 主な死因別死亡者の割合

平成18年の死因別割合をみると生活習慣病といわれる悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患の合計が全体の約6割を占めています。

	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	自殺	糖尿病	その他
平成14年	31.6% 292人	15.2% 140人	13.1% 121人	2.7% 25人	1.2% 11人	36.2% 334人
平成15年	35.8% 325人	15.1% 137人	11.4% 103人	1.7% 15人	0.3% 3人	35.7% 324人
平成16年	30.5% 304人	13.2% 132人	12.3% 123人	3.8% 38人	0.5% 5人	39.7% 396人
平成17年	31.0% 316人	14.6% 149人	13.4% 136人	3.0% 31人	0.6% 6人	37.4% 381人
平成18年	31.7% 338人	12.4% 132人	11.5% 123人	2.3% 25人	0.7% 7人	41.4% 442人



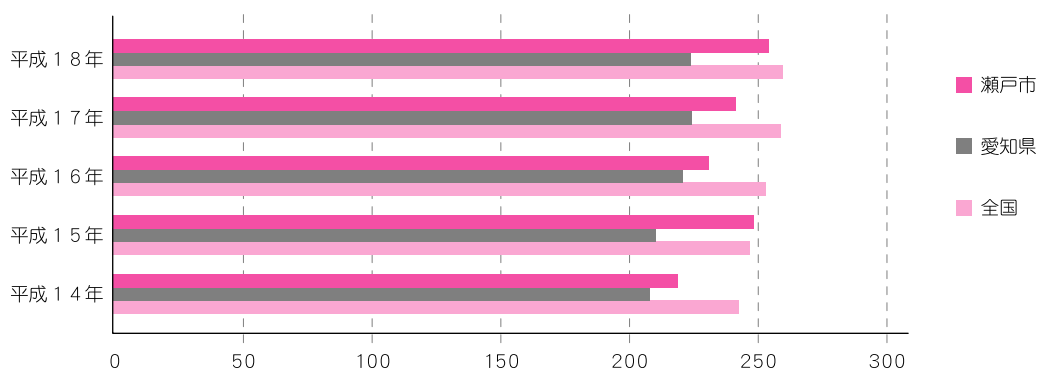
## (6) 死亡率（3大死因の状況）

### ア 悪性新生物の死亡率の推移（人口10万人）

瀬戸市の悪性新生物による死亡率は、愛知県・全国と同様、3大死因のうちの1位を占めています。瀬戸市の推移を見てみると、愛知県より常に高く、平成15年には一時的に全国平均死亡率を超えました。全体としては漸増傾向にあります。

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
瀬戸市	220.5	246.0	230.0	239.5	256.6
愛知県	208.7	212.4	221.5	223.6	223.2
全国	241.5	245.3	253.9	258.2	260.9

※出典：保健所事業概要



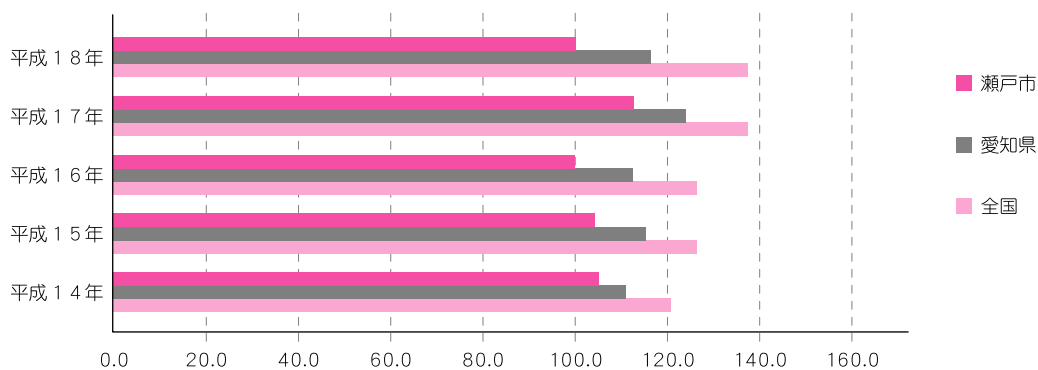
### イ 心疾患の死亡率の推移（人口10万人）

瀬戸市の心疾患による死亡率は、愛知県・全国と同様、3大死因のうちの2位を占めています。死亡率の推移は、上下変動を繰り返していますが、平均すると微減傾向にあります。

瀬戸市の心疾患による死亡率は、愛知県・全国より低い傾向にあります。

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
瀬戸市	105.7	103.7	99.9	113.0	100.2
愛知県	111.2	114.6	113.1	123.4	116.1
全国	120.9	126.4	126.4	137.1	137.0

※出典：保健所事業概要

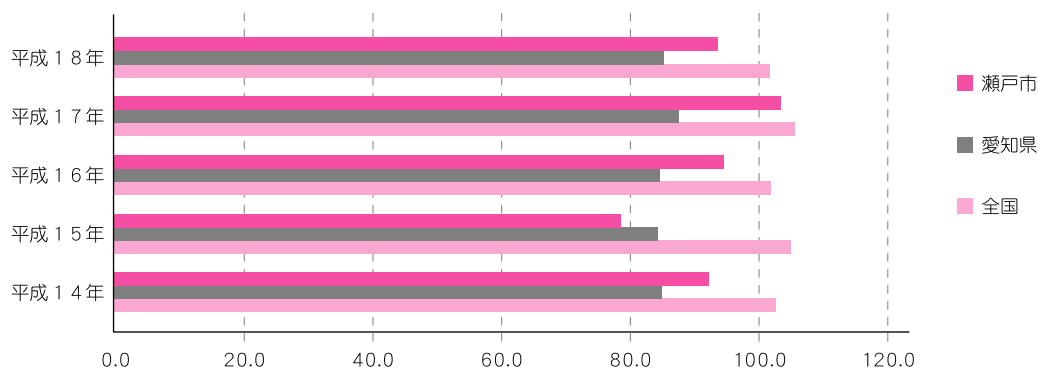


## ウ 脳血管疾患の死亡率の推移（人口10万人）

瀬戸市の脳血管疾患による死亡率は、3大死因のうち3位を占めています。  
その死亡率は、愛知県と同様に全国より低い傾向にあります。

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
瀬戸市	91.4	78.0	93.1	103.1	93.4
愛知県	85.2	84.7	84.9	87.3	85.4
全国	102.8	104.7	102.2	105.2	101.6

※出典：保健所事業概要



## 4. 瀬戸市の国保医療費（1人あたりの療養諸費）の状況

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
全体	362,070	350,407	370,775	379,646	392,677	411,930
一般	168,096	151,447	176,459	191,066	203,602	208,375
退職	373,595	328,455	354,353	366,757	368,389	398,757
老人	777,911	778,715	797,336	804,702	839,401	889,704

